

2021 年度 病院医学教育研究助成成果報告書

報告書提出年月日	2022年 3月 31日
研究・研修課題名	認定言語聴覚士（摂食嚥下障害領域）資格更新のための研修補助
研究・研修組織名（所属）	リハビリテーション部
研究・研修責任者名（所属）	熊谷英岳（リハビリテーション部）
研究・研修実施者名（所属）	熊谷英岳（リハビリテーション部）

成果区分	<input type="checkbox"/> 学会発表 <input type="checkbox"/> 論文掲載 <input type="checkbox"/> 資格取得 <input type="checkbox"/> 認定更新 <input type="checkbox"/> 試験合格 <input type="checkbox"/> 単位取得 <input checked="" type="checkbox"/> その他の成果（資格更新のための要件の 1 つを満たした）
該当者名（所属）	熊谷英岳（リハビリテーション部）
学会名（会期・場所）、認定名等	第 22 回日本言語聴覚学会
演題名・認証交付元等	日本言語聴覚士協会
取得日・認定期間等	
診療報酬加算の有・無	<input type="checkbox"/> 加算有（ ） <input checked="" type="checkbox"/> 加算無

目的及び方法、成果の内容

①目的

日本言語聴覚士協会では、高度な知識および熟練した技術を用いて高水準の業務を遂行できる言語聴覚士を養成することで、業務の質の向上を図り、社会に寄与することを目的として、2008 年から「認定言語聴覚士」制度を設けている。認定言語聴覚士は 5 年毎の更新が必要であり、その要件に日本言語聴覚学会への参加が必須項目として明記されている。本研修の目的は、本院の認定言語聴覚士資格を有する言語聴覚士が、今年度の日本言語聴覚学会に参加し、認定言語聴覚士の資格更新を目指すものである。

②方法

認定言語聴覚士（摂食嚥下障害領域）を取得している本院言語聴覚士 1 名がオンライン上で開催される第 22 回日本言語聴覚学会に参加し、認定言語聴覚士更新のための要件の 1 つを満たす。

③成果

学会では言語聴覚士の関わる領域に関する最新の内容が網羅的に取り上げられ、失語症者に対する新たな介入方法、癌患者への嚥下リハビリテーションの意義、嚥下リハビリテーションの最新の技能、言語聴覚士の現状と課題などに関する講義やシンポジストによるディスカッションが行われた。講師は言語聴覚士だけでなく、リハビリテーション科医師、耳鼻咽喉科医師、歯科医師、教育の領域でご活躍されている研究者で、内容は具体的かつ実践的であった。

特に嚥下リハビリテーションの領域では、異常所見から病態を推測する思考過程、画像評価における誤嚥所見の解釈、リハビリテーション手技、神経電気刺激療法の方法などがすぐに臨床に還元できる有益な内容であった。

本学会の参加により、認定言語聴覚士の更新に必要な要件の 1 つ（資格取得後 5 年のうちに日本言語聴覚学会へ 2 回以上参加、または日本言語聴覚学会へ 1 回かつ関連学会へ 1 回の参加）を満たすことができた。更新のためにはさらに全国規模の学会における認定領域に関する発表や認定領域に関する社会貢献活動が求められるため、それらの要件についても満たせるように摂食嚥下領域における研究や啓発活動への取り組みを行っていく。